

科 目 名	特別活動指導論				
配 当 学 年	2 年	必修・選択	必修	CAP制	対象外
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	青塚 健一（非常勤講師）		単位認定責任者	青塚 健一	
実務経験の有無	無				
実務経験のある教員名および授業の関連内容	-				
授業科目の概要	特別活動の意義、目標・内容を説明し、「人間関係形成」・「社会参画」「自己実現」の各視点をもって、学年活動の違いや各教科との往還的な関連等を教育課程全体で取り組む指導の在り方を学ぶ。「チームとしての学校」の視点を取り入れ、模擬授業を通してグループワークを行い、特別活動の指導法に必要な実践的な指導力を育成する。				
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育における「特別活動」の3領域を区別し、説明できる。 2. 「ホームルーム活動」を理解し、実践的指導力を身につけ、指導案を作成できる。 3. 「生徒会活動」を理解し、実践的指導力を身につけることができる。 4. 「学校行事」を理解し、実践的指導力を身につけ、指導案を作成できる。 5. 出身高等学校の教育課程（特別活動）を相互比較研究して説明できる。 				
学修成果評価項目（%）および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	20 %	小テスト、レポート		
	専門知識	60 %	定期テスト		
	倫理観	%			
	主体性	20 %	プレゼンテーションの取り組み		
	論理性	%			
	国際感覚	%			
	協調性	%			
	創造力	%			
	責任感	%			
授業の展開					
1.	学校教育と特別活動				
2.	学校教育に位置付けられた特別活動の意義				
3.	特別活動の目標及び内容				
4.	特別活動における望ましい人間関係と集団				
5.	特別活動における「ホームルーム活動」の特質				
6.	特別活動の実際（1）「ホームルームづくりの指導」				
7.	特別活動における「生徒会活動」の特質				
8.	特別活動における「学校行事」の特質				
9.	特別活動の実際（2）「儀式的行事の指導」				
10.	特別活動の実際（3）「文化的行事の指導」				
11.	特別活動の実際（4）「健康安全・体育的行事の指導」				
12.	特別活動の実際（5）「旅行・集団宿泊的行事の指導」				
13.	特別活動の実際（6）「勤労生産・奉仕的行事の指導」				
14.	特別活動の指導計画・評価・改善活動				
15.	特別活動における家庭・地域住民や関連諸機関との連携				
授 業 外 学 修 に つ い て	<ul style="list-style-type: none"> ・授業理解のための予習課題について準備する。 ・授業の確認と定着を図るため、関連する新聞記事やネット内容等を調べる。 				

	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題の作成を研究する。 ・「学校要覧」を使用するプレゼンテーションの取り組みを工夫し、振り返りを行う。 				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校学習指導要領解説「特別活動編」(平成 29 年 7 月 文部科学省) ・高等学校学習指導要領解説「特別活動編」(平成 30 年 7 月 文部科学省) 				
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・出身高等学校の「学校要覧」を携行する ・必要に応じて授業時に提示する。 				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	○	×	○	○	○
成績評価の割合	60 %	0 %	20 %	10 %	10 %
成績評価の基準	<p>本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。</p> <p>秀 (100~90点)、優 (89~80点)、良 (79~70点)、可 (69点~60点)、不可 (59点~0点)</p>				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				

(特別活動指導論)